

第6学年 学級活動（1）学習指導略案

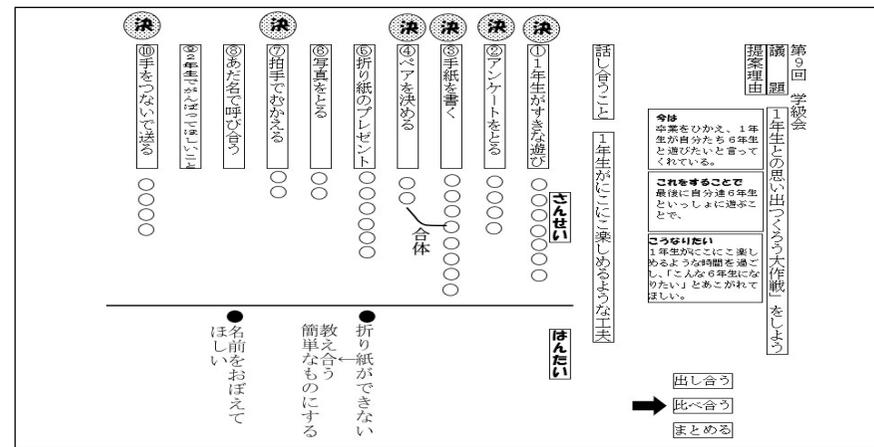
教科等	学級活動	議題	本時	全1時間扱いの1時間目
学級	6年4組	授業者	教室等	4階 6年4組教室

<本時の指導>

<本時のねらい>	
<ul style="list-style-type: none"> 提案理由を意識しながら、1年生に自分たち6年生との楽しい記憶を残せるような工夫を考える。 自分の意見を伝えながら、友達の見聞きを受け止めて聞き、クラス全体で意見をまとめていく。 	
主な学習活動【4つの視点】 主な発問:T 予想される児童の反応:C	
導入	1. 司会台本に沿って、話し合いを始める。【発見】 (1) 始めの言葉 (2) 司会グループの紹介 (3) 議題・提案理由の確認 【議題】「1年生との思い出つくり大作戦」について決めよう 【提案理由】大好きな1年生が自分たち6年生と遊びたいと言ってくれている。最後に自分たち6年生と一緒ににこにこ楽しめるような時間をつくり、「こんな6年生になりたい」と憧れてほしいから。
	2. 出された意見を比べ合う。【対話】【表現】 (1) 決まっていることの確認をする。 ① 場所は6年4組の教室 ② 中休みに行く (2) 賛成・反対の意見を出し合い、意見を比べ合う。 話し合うこと「1年生がにこにこ楽しめるような工夫」 C: 1年生が好きな遊びをする。 C: 1年生に何がやりたいかアンケートをとる。 C: 1年生に手紙を書く。 C: 1年生とベアになり手紙を渡す。 C: 折り紙で作ったプレゼントをあげたい。 C: 思い出に残るように写真をとりたい。 C: 1年生が教室に来るとき拍手で迎えたい。 C: 「呼んでもらいたい呼び方」を決めて、呼び合いたい。 C: 2年生でがんばってほしいことを伝える。 C: 終わったら手をつないで教室に送る。
展開	3. 比べ合った意見をもとにまとめ、決定する。 【対話】【決定】
	4. ノート記録が、決まったことを発表する。

5. 話し合いを振り返る。【対話】 (1) 友達のよさを見付け、発表する。 (2) 教師の助言を聞き、自分たちの頑張りや課題を知る。	□司会グループのがんばりや、ねらいに関連した言動を、具体的に名前を挙げて賞賛し、児童に自信をもたせたり、次回の学級活動への意欲をもてるようにしたりする。※クラス内の理解促進 □必要に応じて、児童に課題を投げかける。※適用化 ☆1年生と一緒に楽しめるような具体的な方法を考えている。 (発言・振り返りカード)
--	--

【板書計画】



【研究主題にせまる6つの手立てとの関連】

(1) 「自分の考えを言葉で表現する」ための手立て
話題設定の工夫
 学級活動は「6年4組がよくなるために、①みんなで話し合って、②みんなで決めたことを、③みんなで行う時間」である。児童はそれを意識して「学級会でこれを話し合いたい」と議題を提案する。その後、司会グループと担任でその議題がふさわしいものか確認した上で、学級全体で議題を決定する。今回は、自分たちが大好きな1年生から「最後に6年生と一緒に遊びたい」という声があがったことから、「卒業前に1年生に喜んでほしい」という思いが強まり、6年生が意欲的に考える議題となると考えた。
 (2) 「学び合う」ための手立て
意図的にグルーピングされた小集団での交流活動の設定
 学級会全体の場合では意見が出にくい場面や、同じような意見しか出ない場面がある。そのようなときは意図的に配置した近くにいる4人程の小グループで相談させる。そうすることで全体の場合では意見が言えない児童も言いやすくなり、新たな意見が出ることにつながる。小グループは、普段から関わることの多い生活班を基準につくることで、より意見を伝えやすくなる。